令和８年度第１回伯耆町子ども・子育て会議 議事録

日　　時　令和８年８月27日（木）13：30～14：38
場　　所　伯耆町役場２階　応接室
出席委員　11名
　　神庭 美輝　（子育て支援センター利用者）【会長】
　　前田 公彦　（二部小学校ＰＴＡ）【副会長】
　　影山 明日香（溝口保育所保護者会）
　　仲田 陽介　（八郷小学校ＰＴＡ）
　　福田 陽子　（溝口保育所）
　　木島 久美　（子育て支援センター）
　　森　 千代美（岸本放課後児童クラブ）
　　中島 寛　　（溝口小学校放課後子供教室）
　　長田 修平　（民生児童委員協議会）
　　幅田 典代　（八郷小学校）
　　藤原 美枝　（教育委員）
欠席委員　岡本 伸太郎（ふたば保育所保護者会）
　　相見 光子　（小規模保育所こどもパル）
事 務 局　福祉課（住田 浩平、北垣 栄美子、山上 志保、松浦 夏穂）
　　教育委員会事務局（佐藤 歩）

１．開会

発言者	発　言　内　容
事務局	只今より、令和８年度第１回伯耆町子ども・子育て会議を開会する。 議事に入るまでの間は、事務局が進行する。

２．副町長あいさつ

発言者	発　言　内　容
事務局	それでは、開会にあたり副町長からご挨拶する。
副町長	本会議は伯耆町こども計画の令和７年度の評価及び実施状況、今後の方針について話し合う重要な場であり、皆様から多様なご意見をいただきたい。 また、新設したこども家庭センターによる一体的な支援体制の構築や、保育所・児童クラブ等の民間委託を推進し、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいるところ。 こどもや若者、子育て家庭の皆様が幸せで豊かに暮らせる社会の実現を目指して、委員の皆様のご協力をお願いする。
事務局	公務のためここで副町長は退席する。

３．委員・事務局自己紹介、本日の出席状況

発言者	発　言　内　容
事務局	本日が第１回目の会議となるため、自己紹介をお願いする。
	（委員・事務局の自己紹介）

事務局	会議成立の報告をする。 本日の出席状況等について、委員総数13名のうち　出席委員11名と委任状提出委員２名の計13名で、委員の半数以上に達しているため、伯耆町子ども・子育て会議条例第６条の規定に基づき、本会議が成立していることを報告する。
事務局	続いて、「伯耆町子ども・子育て会議について」事務局より概要を説明する。
	（参考資料１により事務局説明）
事務局	説明した内容について、質問はないか。
	（質疑なし）

４．会長・副会長の選任

発言者	進　行　内　容
事務局	伯耆町子ども・子育て会議条例第５条の規定により、委員の互選によりこれを定めることとなっている。選出方法について意見はないか。
	（意見なし）
事務局	事務局から推薦させていただきたいがよいか。
	（異議なし）
事務局	会長に子育て支援センター利用者の神庭美輝さん、二部小学校ＰＴＡの前田公彦さんを推薦する。 了承いただけるか確認したい。
	（委員了承）
事務局	条例第６条第１項の規定により、会議は会長が議長となるため、ここからの議事進行は、神庭会長にお願いする。

５．議事

発言者	発　言　内　容
会長	（１）「伯耆町こども計画（第３期伯耆町子ども・子育て支援事業計画）の評価及び実施状況について」の説明を事務局に求める。資料１－１　資料１－２
事務局	（資料１－１・資料１－２に基づき説明。）
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	こども家庭センターが設置されて、職員を十分に配置して運営していると思う。その運営の中で、教育と福祉の連携が重要と考えている。その連携の状況はいかがか。
事務局	こども家庭センターに関しては、のちほど報告部分で説明をするため、その際に回答する。
委員	こども計画策定時から携わっていて、大切な計画だと思っている。しかし、この計画について住民はどの程度知っているのかなとふと疑問に思った。計画の周知状況や今後の周知対策はどう考えられているか。 また、計画策定時に小学５年生と中学２年生にアンケートを取った。こどもの意見聴取として、令和７年度は企画課と教育委員会が実施したと記載がある。今後はこどもたちの意見聴取をどのように継続していくのか。

事務局	計画策定時に町やケーブルテレビ等で周知したが、その後の周知は十分でない部分がある。今後は計画の更新時にアンケートなどを活用し、町民への周知状況の把握と情報発信の強化を図ることを検討する。 また、小学５年生や中学２年生へのアンケートについては、基本的には計画策定時に実施するものだが、アンケートとは別に、教育委員会や町の行事として今後も意見聴取の機会づくりを行っていきたい。
委員	中学校卒業後のこどもたちへの支援について、中学生までは学校があるため町で見守ることができるが、卒業後はなかなか状況を把握しにくいのではないかと思う。中学校卒業後の状況把握や支援体制はどうなっているか。
事務局	高校を中退したこどもの情報は県を通じて入手する仕組みがあり、スクールソーシャルワーカーや要対協による必要な支援が行われている。すべての高校生の詳細な状況把握は難しいが、その年代のこどもも含めた施策を図っていきたい。
委員	保育所から小学校へのスムーズな連携についてのこと。小学１年生にとって、小学校での新しい生活は慣れないことが多い。こどもが「小学校で大好きな保育園の先生に会えたら元気が出る、がんばれる」と言っていた。もし可能ならそういった部分での連携もしてもらえたらなと思う。
事務局	入学前には、就学支援検討会で保育所の先生と小学校関係者が連携し、こどもたちに関する引継ぎを実施している。また早期支援コーディネーターが保育所と小学校の間で情報交換を行い、入学後の不安軽減や継続的な支援をしている。今回伺ったように、入学後もこどもたちが保育士とつながることができるような体制づくりも必要かと思うため、引き続き連携しながら進めていきたい。
委員	こども誰でも通園制度は、現在溝口保育所でのみ実施されているが、岸本地区の保育所にもあったらいいなと思う。制度の今後の展開は。
事務局	令和８年度からこども誰でも通園制度が開始し、溝口保育所で実施中。今後は他の保育所での実施を検討する。空き定員や専用型の活用状況に応じて拡大を目指している。
委員	こどもの居場所として、児童館は二部地区にあり、岸本地区のこどもたちは公民館に集まっている。ただ、静かに利用をするべき場所のため、なかなか自由に利用することが難しい。 新たなこどもの居場所になる建物を整備するのもよいが、時間がかかってしまうため、いまある施設の空き部屋などで、見守り職員を配置するなどして、こどもの居場所をつくることはできないだろうか。
事務局	こどもの居場所づくりについては、溝口地区での「次世代ミーティング」でも話があがった。新しい施設を作るとなると時間がかかるため、公民館の２階が空いているときに職員を配置して、こどもたちが過ごせる場所とするような対応を取ることができるかもしれない。このことについては、今後教育委員会で検討していくものとなっている。
委員	早期支援コーディネーターはどの部署の所属で、どのように業務をさ

	れているのか。
事務局	教育委員会所属で、母子保健との連携により３歳・５歳健診を活用した発達支援等を行っている。各保育所訪問や小学校でのフォローも担当し、こどもの困り感を早期に把握し、支援に繋げる役割がある。職員は1人で、業務は多忙ながらも重要な役割を担っている。
委員	計画の実施状況の中に、外国籍の児童への支援体制について記載があるが、どのような対応だったのか。
委員	昨年度外国籍の児童を受け入れた学校にいたため説明する。昨年度は突然の外国籍児童の転入があり、教育委員会が中心となって地域の外国人支援財団等と連携し基礎日本語教育や生活支援を実施した。ポケットサイズの翻訳機を使うなどして、コミュニケーションを取った。こどもたちは温かく受け入れていて、とてもよい経験になっていたように感じている。
委員	町へ期待することとして、性的マイノリティ、引きこもり支援の施策についても町として対応強化を図ってほしい。
会長	そのほか質問・意見はないか。
委員	（質疑なし）
会長	ないようであるため、議事を終了する。

６．報告

発言者	発　言　内　容
会長	報告に入る。 （１）「伯耆町こども計画の一部変更について」事務局より説明を求める。資料２
事務局	（資料２に基づき説明。）
会長	説明のあった報告について、質問・意見はないか。
委員	（質疑なし）
会長	ないようであるため、次の報告にうつる。続いて、（２）「こども家庭センターの運営状況について」事務局より説明を求める。資料３
事務局	（資料３に基づき説明。）
事務局	議事の際に質問のあった教育部門との連携について回答する。教育委員会の指導主事や早期支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカーとこども家庭センター職員が月1回定例会を開催している。このほか、スクールソーシャルワーカーと保健師は必要に応じて週1回打ち合わせを実施し、情報共有と連携を図っている。
会長	説明のあった報告について、質問・意見はないか。
委員	（質疑なし）
会長	ないようであるため、次の報告にうつる。続いて、（３）「保育所給食調理業務の民間委託について」事務局より説明を求める。資料４

事務局	（資料４に基づき説明。）
会長	説明のあった報告について、質問・意見はないか。
委員	（質疑なし）
会長	ないようであるため、次の報告にうつる。続いて、（４）「放課後児童クラブ運営の民間委託の実施について」事務局より説明を求める。資料５
事務局	（資料５に基づき説明。）
会長	説明のあった報告について、質問・意見はないか。
委員	民間委託に伴って、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的運営はどのようになっていくのか。
事務局	放課後子供教室との連携は現状維持。溝口は利用少なく相互乗り入れ可能だが岸本は人員不足で難しい現状がある。当面は交流をする意味合いでの一体的運営を図っていく。
委員	（質疑なし）
会長	続いて、（５）「その他」事務局より説明を求める。
事務局	なし。
会長	その他、今日の会議やこども・子育てに関することで、何か質問や意見はないか。
委員	（質問・意見なし）

５．閉会

発言者	発　言　内　容
会長	本日の会議の日程は全て終了した。 これをもって、令和８年度第１回伯耆町子ども・子育て会議を終了する。